

奨学金案内

2019

 駒澤大學

はじめに

【この冊子について】

『奨学金案内 2019』は、駒澤大学が取り扱っている駒澤大学学内奨学金・その他学内学生支援制度・日本学生支援機構奨学金・地方公共団体奨学金・民間団体奨学金・曹洞宗関係奨学金・教育ローンについて説明しています。

【奨学金制度とは】

奨学金制度とは、学生が経済的理由により学業の継続に支障をきたすことなく意欲的に学業に専念できるよう「経済支援」を目的とした奨学金と、学修・研究を一層深化できるよう「学業奨励」を目的とした奨学金があり、学資に係る費用や生活費を支援する制度です。大学卒業後に返還する「貸与奨学金」と、返還の必要がない「給付奨学金」があります。

返還の有無、採用条件、金額、出願資格などは奨学金によって異なります。

【出願にあたって】

自分自身の生活状況や家計状況をしっかり把握したうえで、各奨学金の目的や内容を十分に理解し、出願してください。

いずれの奨学金も採用人数に限りがありますので、出願者全員が採用されるとは限りません。

【募集案内、出願書類作成や各種手続きについて】

奨学金にかかわる事項（募集要項・手続日程・願書配付日等）は、学生部出入口横の奨学金掲示板、大学ホームページ内の奨学金ページおよびKONECO（連絡事項【一般】）でお知らせしますので、常に確認し、重要な連絡事項を見落とさないように注意してください。

また、出願する際は、学生本人が責任を持って、準備・作成を行ってください。一部の書類は保護者の手を借りる必要がありますので、親子間で情報を共有しながら、期限に遅れないよう手続きを進めてください。

【貸与型奨学金の注意事項】

貸与型の奨学金は学生本人に貸与されるため、本人に返還の義務が生じます。返還が難しくなった場合の手続きもありますので、返還が滞ることのないよう必要な手続を行ってください。返還が滞ってしまうと個人信用情報機関のブラックリストに登録されてクレジットカードやローンが使えなくなるなど、あなたの社会的信用は失墜します。さらに、保証人である父母や親戚が督促されることとなります。十分に検討して、適切な金額を借りるようにしましょう。

目 次

各種奨学金等の紹介

(1) 駒澤大学学内奨学金	2
(2) その他学内学生支援制度	6
(3) 日本学生支援機構奨学金	7
(4) 地方公共団体・民間団体奨学金	15
(5) 曹洞宗関係奨学金	24
(6) 教育ローン	25

参考資料

(1) 出願から採用までの流れ	27
(2) 2018年度駒澤大学奨学生数一覧(延べ人数)	28

奨学金制度変更のお知らせ	29
--------------	----

本書に掲載している奨学金制度一覧

採用形態	目的	設立	奨学金名
給付型	経済支援	学内	百周年記念
			教育後援会(家計)
			教育後援会(私費外国人留学生)
			同窓会教育研究活動
			教育ローン利子補給
		学外	日本学生支援機構(給付型)
		地方公共団体	
		民間団体	
	学業奨励	学内	駒澤会
			教育後援会(成績)
			新人の英知(入試特待生)
			全学部統一日程入学試験
		法科大学院	
	学外	民間団体	
その他	曹洞宗関係	修証義公布百周年記念	
		曹洞宗	

採用形態	利子	設立	奨学金名
貸与型	無利子	学外	日本学生支援機構第一種
			地方公共団体
			民間団体
	曹洞宗関係	曹洞宗育英会	
	有利子	学外	日本学生支援機構第二種

その他学内学生支援制度	家計急変一時給付金
	大学院授業料減免制度
	大規模自然災害授業料減免・経済的支援

教育ローン	提携金融機関の教育ローン
	提携信販会社の教育ローン
	国の教育ローン

各種奨学金等の紹介

(1) 駒澤大学学内奨学金

学内奨学金は、すべて返還の必要がない給付型奨学金です。奨学金の目的は「経済支援型」と「学業奨励型」の2種類です。

- 日本学生支援機構奨学金（貸与・給付）利用者も、学内奨学金に出願することができます。
- 2019年度は、前期に「経済支援型」奨学金や「学業奨励型」奨学金に出願して不採用になった場合は、それぞれ後期採用の「経済支援型」奨学金や「学業奨励型」奨学金に自動エントリーされ、前期に提出した書類をもって後期採用の選考をします。改めて書類を提出する必要はありません。なお、前期に出願せず、後期にのみ出願することもできます。

前期採用

① 駒澤大学駒澤会奨学金【学業奨励型】	
概要	駒澤大学駒澤会の寄付金による奨学金です。前年度までの学業成績が優秀な学生に学資として給付します。学業成績の高い学生から順に採用します。
対象	学部2・3・4年次生 ※詳細は備考を参照してください。
給付額	年額20万円(一括給付)
振込月	6月
採用人数	20人
願書配付	4月(KONECOに配信)
出願資格	標準単位(2年次生30単位・3年次生60単位・4年次生90単位)を修得し、かつGPA3.0以上
備考	単年度採用で、学内給付型奨学金との併用はできません。 私費外国人留学生は学習奨励費との併用はできません。 今年度の編入学生、再入学生は出願できません。

② 駒澤大学百周年記念奨学金【経済支援型】	
概要	駒澤大学開校百周年(1982年)を記念して設けられた奨学金です。人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難な学生に学資として給付します。経済的困窮度の高い学生から順に採用します。
対象	学部1・2・3・4年次生及び大学院生
給付額	月額2万円(年総額24万円)
振込月	初回8月に4月から8月分をまとめて振り込み、以後毎月
採用人数	50人
願書配付	4月(KONECOに配信)
出願資格	学部1年次生: 【国内学生】高校卒業時評定平均値3.0以上 【留学生】日本留学試験「日本語科目(「記述」除く)」合計309点以上 学部2年次生以上: 標準単位(2年次生30単位・3年次生60単位・4年次生90単位)を修得し、かつGPA1.4以上 大学院生: 成績が平均水準以上
備考	単年度採用で、学内給付型奨学金との併用はできません。 私費外国人留学生は学習奨励費との併用はできません。 願書以外に、準備を要する書類(KONECOよりダウンロード)があります。

③ 駒澤大学教育後援会奨学金(家計)【経済支援型】	
概要	駒澤大学教育後援会の寄付金による奨学金です。人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難な学生に学資として給付します。経済的困窮度の高い学生から順に採用します。
対象	学部 1・2・3・4 年次生および大学院生 ※詳細は備考を参照してください。
給付額	年額 20 万円(一括給付)
振込月	11 月
採用人数	75 人
願書配付	4 月および 7 月(KONECO に配信)
出願資格	学部 1 年次生: 高校卒業時評定平均値 2.8 以上 学部 2 年次生以上: 標準単位(2 年次生 30 単位・3 年次生 60 単位・4 年次生 90 単位)を修得し、かつ GPA1.4 以上 大学院生: 成績が平均水準以上
備考	単年度採用で、学内給付型奨学金との併用はできません。 今年度の編入学生、再入学生、前年度休学者(前期・後期・通年)は出願できません。 私費外国人留学生は出願できません。 願書以外に、準備を要する書類(KONECO よりダウンロード)があります。

④ 駒澤大学教育後援会奨学金(成績)【学業奨励型】	
概要	駒澤大学教育後援会の寄付金による奨学金です。前年度までの学業成績が優秀な学生に、学資として給付します。学業成績の高い学生から順に採用します。
対象	学部 2・3・4 年次生 ※詳細は備考を参照してください。
給付額	年額 20 万円(一括給付)
振込月	11 月
採用人数	70 人
願書配付	4 月および 7 月(KONECO に配信)
出願資格	標準単位(2 年次生 30 単位・3 年次生 60 単位・4 年次生 90 単位)を修得し、かつ GPA3.0 以上
備考	単年度採用で、学内給付型奨学金との併用はできません。 今年度の編入学生、再入学生、前年度休学者(前期・後期・通年)は出願できません。 私費外国人留学生は出願できません。

⑤ 駒澤大学教育後援会奨学金(私費外国人留学生)【経済支援型】	
概要	駒澤大学教育後援会の寄付金による奨学金です。人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難な私費外国人留学生に学資として給付します。学業成績の高い学生から順に採用します。
対象	私費外国人留学生 ※詳細は備考を参照してください。
給付額	年額 20 万円(一括給付)
振込月	11 月
採用人数	10 人
願書配付	4 月および 7 月(KONECO に配信)
出願資格	学部 1 年次生: 日本留学試験「日本語科目(「記述」除く)」合計 309 点以上 学部 2 年次生以上: 標準単位(2 年次生 30 単位・3 年次生 60 単位・4 年次生 90 単位)を修得し、かつ GPA2.4 以上 大学院生: 成績が平均水準以上
備考	単年度採用で、学内給付型奨学金および学習奨励費との併用はできません。 今年度の編入学生、再入学生、前年度休学者(前期・後期・通年)は出願できません。

⑥ 駒澤大学同窓会教育研究活動奨学金【経済支援型】			
概要	駒澤大学同窓会による奨学金です。人物・学業ともに優れ、経済的困窮度の高い者に経済的側面から支援し、有用な人材を育成することを目的に、学資として給付します。		
対象	学部生	大学院生	学部・大学院の私費外国人留学生
給付額	年額 10 万円 (一括給付)	年額 15 万円 (一括給付)	年額 10 万円 (一括給付)
振込月	12 月	12 月	12 月
採用予定数	115 人以内	10 人以内	20 人
出願資格	②百周年記念奨学金の出願者 ③教育後援会奨学金(家計)の出願者		②百周年記念奨学金の出願者、⑤教育後援会奨学金(私費外国人留学生)の出願者
出願方法	百周年記念奨学金、教育後援会奨学金(家計)、教育後援会奨学金(私費外国人留学生)の出願者で、各奨学金の不採用者が自動エントリーされます。単独出願はできません。		
備考	単年度採用で、学内給付型奨学金および学習奨励費の併用はできません。 学部生・大学院生(国内学生)は、②百周年記念奨学金および③教育後援会奨学金(家計)の不採用者から、 経済的困窮度の高い順 に採用します。 学部・大学院在籍の私費外国人留学生は、②百周年記念奨学金および⑤教育後援会奨学金(私費外国人留学生)の不採用者から、 成績順 に採用します。		

その他

⑦ 駒澤大学教育ローン・法科大学院提携ローン利子補給奨学金【経済支援型】	
概要	「駒澤大学教育ローン」または「駒澤大学法科大学院提携ローン」を利用して学費等を納めた場合に、経済的負担を軽減し学業の継続に資することを目的として利子の一部を給付します。
対象	学部生・大学院生・法科大学院生
給付額	初年度分の利子相当する金額(上限は年利 7%相当額)
給付期間	融資を受けた初年度
振込月	3 月
願書配付	5 月～12 月
出願資格	保証人等が駒澤大学教育ローンを利用して学費等を納入した学生 駒澤大学法科大学院提携ローンを利用して学費等を納入した学生
備考	入学前に融資を受けた場合も出願できます。全ての奨学金と併用ができます。 ※ 教育ローンの詳細は P.25 を参照してください。 ※2019 年度をもって募集を終了します。

一般入学試験時採用

⑧ 駒澤大学新人の英知(入試特待生)奨学金【学業奨励型】			
概要	2月実施の一般入学試験T方式(グローバル・メディア・スタディーズ学部はS方式)で受験し、極めて優秀な成績で合格した方を対象に、学業奨励および人材育成を目的に、学資として給付します。 ※ネット出願時に入学試験志願書と一緒に申込書の提出が必要です。		
給付額	授業料相当額	採用人数	64 人
備考	進級時の成績により、4年間継続して給付を受けられます。 学内奨学金①から⑥に出願できません。		

⑨ 駒澤大学全学部統一日程入学試験奨学金【学業奨励型】			
概要	全学部統一日程入学試験に出願した方は自動エントリーされ、上位 200 名以内の得点で合格された方へ学業奨励および人材育成を目的に、学資として給付します。		
給付額	30 万円(分割給付)	採用人数	200 人
受給資格	当該学部学科に入学すること		
備考	進級時の成績により、4年間継続して給付を受けられます。 学内奨学金①から⑥に出願できません。		

法科大学院

奨学生に採用された者は、駒澤大学教育ローン利子補給奨学金および駒澤大学法科大学院提携ローン利子補給奨学金を除き、他の学内奨学金への出願を認めません。

法科大学院新入生奨学金	
概要	法科大学院入学試験において特に優秀な成績で合格し、入学した学生を対象に学資として給付します。
給付額	A種:授業料全額相当額および施設設備資金全額相当額 B種:授業料半額相当額および施設設備資金半額相当額
給付期間	単年度

法科大学院奨学金	
概要	法科大学院の在学生(新入生を除く)から、特に学業成績優秀な学生を対象に学資として給付します。A種、B種の受給区分は、前年度の成績によります。
給付額	A種:授業料全額相当額および施設設備資金全額相当額 B種:授業料半額相当額および施設設備資金半額相当額
給付期間	単年度(前年度の成績により、入学日から所定の課程を修了するまでの最短修業年限内において継続して給付が受けられます。)

法科大学院特別奨学金	
概要	大学の早期卒業制度または大学院への飛び入学制度を利用し法科大学院に入学した学生[早期卒業者等]及び学校法人駒澤大学が設置する大学を卒業または修了して法科大学院へ入学した学生[学内進学者]を対象に学資として給付します。早期卒業者等A種、早期卒業者等B種、学内進学者A種、学内進学者B種の受給区分は、入学試験の成績によります。
給付額	A種:授業料全額相当額、施設設備資金全額相当額および学修奨励金(月額8万円) B種:授業料半額相当額、施設設備資金半額相当額および学修奨励金(月額8万円)
給付期間	前年度の成績により、入学日から所定の課程を修了するまでの最短修業年限内において継続して給付が受けられます。

(2) その他学内学生支援制度

家計急変学生に対する一時給付金制度	
概要	駒澤大学教育後援会の寄付金による給付金制度です。主たる家計支持者の死亡等により、修学が困難になった学生に対して、学費または生活費の一部を援助することを目的として給付します。
対象	学部生・大学院生
給付額	30万円
受付期間	随時
出願資格	在学中、主たる家計支持者の死亡等により、修学が困難になった学部生・大学院生
備考	学業継続の意志が強固であり、主たる家計支持者の年収が、給与所得者の場合 841万円以下、給与所得者以外の場合は 355万円以下が申請条件です。この給付金は、他の奨学金との併用ができます。

大学院授業料減免制度		※2019年度入学者より実施
概要	駒澤大学大学院(法曹養成研究科を除く)受験者のうち、本学卒業生(飛び入学する者を含む)・本学大学院修了生の中から、特に優秀な学生に対して、学費のうち授業料を減免し、勉学を奨励することを目的とします。	
備考	申請手続きについては、教務部⑤番窓口にご相談ください。	

大規模自然災害授業料減免・経済的支援	
概要	本学では、在学学生(聴講生・科目等履修生を除く)の家計支持者である保証人が、大規模自然災害(地震・台風・豪雨・噴火等)により被災した場合に、学費等の修学にかかる負担の軽減を図るため、被害状況に応じて授業料減免、経済的支援の措置を講じています。
備考	申請手続きについては、学生部②番窓口にご相談ください。

(3) 日本学生支援機構奨学金

経済的理由で修学が困難な優れた学生に学資の貸与を行い、また、経済・社会情勢等を踏まえ、学生等が安心して学べるよう、「貸与」または「給付」する日本学生支援機構の制度です。採用の可否については、日本学生支援機構の推薦基準に基づいて大学が推薦し、日本学生支援機構が決定します。

奨学金の種類は、「給付奨学金」、「第一種奨学金（無利子）」、「第二種奨学金（有利子）」、「入学時特別増額貸与奨学金」があります。

なお詳細は日本学生支援機構のホームページ

(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>) を参照してください。

概要

奨学金の内容

【給付型】

奨学金の種類	採用種類	募集時期	給付始期	給付終期
給付奨学金	予約採用	高校在学時	2019年4月	卒業予定期 (最短修業年限の終期) ※2023年3月

※ 7月と10月にインターネットを通じて在籍確認と個別面談を行います。

※ 毎年12月に継続の手続きを行い、適格認定で認められれば、最短修業年限の給付が受けられます。

※ 採用基準を満たせば、貸与型を借りることもできます。

【貸与型】

奨学金の種類	採用種類	募集時期	貸与始期	貸与終期
第一種奨学金 【無利子】	予約採用	高校又は大学 在学時	2019年4月	卒業予定期 (最短修業年限の終期)
	定期採用	4月		
	緊急採用	随時	家計急変の事由が発生した月以降	2020年3月
第二種奨学金 【有利子】	予約採用	高校又は大学 在学時	2019年4月	卒業予定期 (最短修業年限の終期)
	定期採用	4月	2019年4月～9月の間の希望月	
	応急採用	随時	2019年4月～2020年3月の間	
入学時特別増額 貸与奨学金	予約採用	高校又は大学 在学時	2019年4月	2019年4月
	定期採用	4月		

※ 毎年12月に継続の手続きを行い、適格認定で認められれば、最短修業年限の貸与が可能です。

※ 条件を満たせば、第一種と第二種の併用ができます。

給付月額

	自宅通学	自宅外通学
学部生	月額 30,000 円	月額 40,000 円

※通学形態によって給付月額が決まります。但し、社会的養護を必要とする人は、「自宅外通学」の月額が適用されます。

貸与月額

【第一種奨学金】

学部生			
通学形態	【平成 30 年度以降入学者】		【平成 29 年度以前入学者】
	最高月額以外の月額	最高月額	月額
自宅	2 万円・3 万円・4 万円から選択	5 万 4 千円	3 万円・5 万 4 千円から選択
自宅外	2 万円・3 万円・4 万円・5 万円から選択	6 万 4 千円	3 万円・5 万 4 千円・6 万 4 千円から選択

※平成 30 年度以降入学者と平成 29 年度以前入学者では、適用される貸与月額が異なります。
※最高月額は、申込時における家計支持者の年収が一定額以下の場合に選択できます。

大学院	
修士	5 万円・8 万 8 千円から選択
法科	
博士	8 万円・12 万 2 千円から選択

【第二種奨学金】

学部生	大学院
2 万～12 万円までの 1 万円単位の金額の中から選択	5 万円・8 万円・10 万円・13 万円・15 万円から選択

※法科大学院生は、15 万円を選択した場合、4 万円または 7 万円の増額貸与ができます。
※入学時特別増額貸与奨学金の貸与額は、10 万円・20 万円・30 万円・40 万円・50 万円から選択できます。

第二種奨学金の利率

第二種奨学金は、返還する際に利子が付きます。

利率の算定方式は、以下のいずれかを、申し込み時に選択します。

- ① 利率固定方式 : 貸与終了時に決定した利率が返還完了まで適用されます。
- ② 利率見直し方式 : 返還期間中、おおむね 5 年ごとに見直される利率が適用されます。

なお、いずれの方式も利率は年 3.0%が上限です。在学中および返還期限猶予中は無利息です。

利率は日本学生支援機構ホームページに公開されています。

申込手続

採用種類

①予約採用

高等学校在学中に予約採用候補者に決定している新入生が対象です。対象の新入生は、「入学手続の手引」を参照のうえ、新入生オリエンテーション期間中に開催される予約採用説明会に必ず出席してください。

②定期採用

日本学生支援機構奨学金を新規に希望する学生（新入生を含む）が対象です。希望する学生は、4月初旬に開催する奨学金募集説明会（「定期採用説明会」）に必ず出席してください。

※ 以下に該当する方は**対象外**です。

- ・ 高等学校在学中に予約採用候補者に決定している新入生(移行・併用希望の場合を除く)
- ・ 現在、日本学生支援機構奨学金を借りている学生(移行・併用希望、過年度廃止者を除く)
- ・ 成績不振による卒業未了者および今年度原級(留年)となった学生
- ・ 聴講生、科目等履修生、留学生(外国人留学生入学試験受験者)

③緊急採用・応急採用

家計が急変した者で、次の事項のいずれかに該当する場合は、第一種奨学金緊急採用（無利子）・第二種奨学金応急採用（有利子）に出願できます（事由発生後、随時応募可）。

ケース① 家計支持者が失職・退職した場合

ケース② 家計支持者が死亡または離別(離婚・失踪)した場合

ケース③ 家計支持者が破産した場合

ケース④ 家計支持者が、病気、事故、会社倒産、経営不振、その他家計急変の事由により、著しく支出が増大、もしくは収入が減少した場合

ケース⑤ 家計支持者が、震災、風水害、火災その他の災害等の災害により災害救助法・天災による被害農林漁業者などに対する資金の融通に関する暫定措置法の適用を受ける著しい被害またはこれらの災害に準ずる程度の被害を受けたことにより、支出が著しく増大、もしくは収入が減少した場合

※ 事由発生から1年以内に限ります。

※ ケース⑤において災害救助法等が適用される地域の情報は、日本学生支援機構のホームページに公表されるほか、大学ホームページの奨学金ページにも掲載します。

採用時期

採用の種類によって採用時期(初回振込)が異なります。

予約採用・・・原則、採用月は5月です(初回振込:5月16日)。

定期採用・・・原則、採用月は6月です(初回振込:6月11日)。

緊急採用・応急採用・・・原則、採用月は申込月の翌月です。

採用基準

奨学生の採用選考は、**学業成績**と家庭の収入をもとに算出した**経済的困窮度（家計基準）**を元に、日本学生支援機構が決定します。

■ 学業基準（日本学生支援機構の基準） ■

基準を満たしていれば、成績の優劣から採用者が決定することはありません。

年次	対象成績	第一種奨学金成績基準	第二種奨学金成績基準
学部1年次生	高校卒業時成績	高校評定平均値 3.5 以上	出身高校において平均水準以上
学部2年次生	前年度までの成績	30 単位以上修得・GPA2.0 以上	15 単位以上修得
学部3年次生	前年度までの成績	60 単位以上修得・GPA2.0 以上	45 単位以上修得
学部4年次生	前年度までの成績	90 単位以上修得・GPA2.0 以上	75 単位以上修得
大 学 院	前年度までの成績	平均水準以上	平均水準以上

※ 特別な事情（休学・留学等）により修得単位が不足している場合は、募集説明会前に相談してください。

■ 家計基準 ■

家計支持者の収入額から所得金額を算出し、所得金額から規程で定められた控除額を差し引いた金額（認定所得）が日本学生支援機構で定める基準額以下であることが必要です。

※2018 年度参考

(単位:万円)

世帯人数	通学形態	給与所得世帯の場合〈年間の給与収入〉			
		第一種奨学金		第二種奨学金	併用貸与
		・平成 30 年度入学者の最高月額	・平成 30 年度入学者の最高月額以外 ・平成 29 年度以前入学者		
2 人	自宅	779	829	1,086	779
	自宅外	826	876	1,133	826
3 人	自宅	670	729	1,059	670
	自宅外	737	791	1,106	737
4 人	自宅	747	800	1,143	747
	自宅外	804	847	1,190	804
5 人	自宅	992	1,030	1,408	992
	自宅外	1,086	1,124	1,502	1,086

世帯人数	通学形態	給与所得以外の世帯の場合〈年間の所得金額〉			
		第一種奨学金		第二種奨学金	併用貸与
		・平成 30 年度入学者の最高月額	・平成 30 年度入学者の最高月額以外 ・平成 29 年度以前入学者		
2 人	自宅	371	421	678	371
	自宅外	418	468	725	418
3 人	自宅	295	336	651	295
	自宅外	342	383	698	342
4 人	自宅	349	392	735	349
	自宅外	396	439	782	396
5 人	自宅	584	622	1,000	584
	自宅外	678	716	1,094	678

保証制度の選択

奨学金出願にあたっては、奨学生本人の返還が滞った際に、その債務を履行する保証人の選定が必要です。人的保証制度もしくは機関保証制度のどちらかを選択しなければなりません。

なお、第一種奨学金において所得連動返還型を希望する場合の保証制度は、機関保証を選択する必要があります。

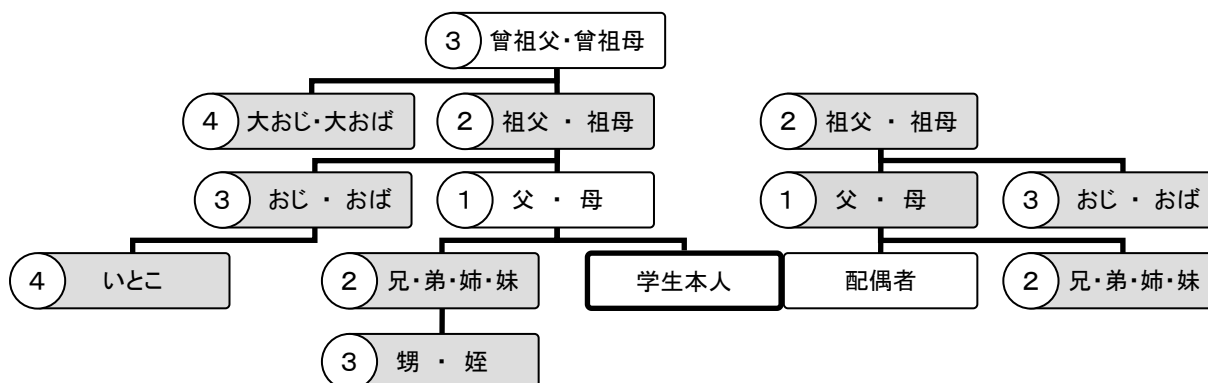
■ 人的保証制度 ■

連帯保証人と保証人の合計2人を選任します。

連帯保証人：奨学生本人と連帯して返還の責任を負う人です。原則として「父母」です。

保証人：あなた（奨学生本人）と連帯保証人が返還できなくなったときに、あなた（奨学生本人）に代わって返還する人です。出願時に20歳以上65歳未満の4親等以内の親族（兄弟姉妹・おじ・おば・いとこ等）で、本人および連帯保証人と別生計の者1人（学生はできません）。

【4親等以内の主な親族】



※ 丸枠内の数字は親等数(4親等以内の親族は「4親等以内の血族、配偶者、3親等以内の姻族」です。)

■ 機関保証制度 ■

連帯保証人・保証人を選任しない代わりに、保証料を毎月払うことで保証機関（公益財団法人日本国際教育支援協会）が連帯保証します（保証料月額目安はP.12参照）。

出願時に連帯保証人・保証人を立てられない場合は、機関保証制度を選択してください。

■ 人的保証制度と機関保証制度の主な相違点 ■

	人的保証制度	機関保証制度
返還延滞時	連帯保証人や保証人へ請求・督促が行われます。	保証機関が代位弁済をします。その後、保証機関から本人に対して代位弁済額が一括請求されます。
毎月の貸与奨学金振込額	貸与月額満額	貸与月額から月々の保証料が引かれた金額

■ 保証制度における注意事項 ■

保証制度の変更は、原則としてできません。

ただし、第一種奨学金返還方式の「所得連動返還型」に変更する場合や連帯保証人の死亡など止むを得ない事情の場合、人的保証制度から機関保証制度に変更することができます。この場合、貸与済奨学金分の保証料を貸与開始時にさかのぼって一括納入する必要があります。

■ 機関保証料月額が目安(2018年度) ■

区分		貸与月額 (円)	貸与期間 (月)	貸与総額 (円)	返還回数 (月)	保証料月額 (円)
第一種	学部	20,000	48	960,000	120	500
		30,000		1,440,000	156	947
		40,000		1,920,000		1,262
		50,000		2,400,000	180	1,786
		54,000		2,592,000		1,928
		64,000		3,072,000	216	2,666
	修士・ 法科(2年課程)	50,000	24	1,200,000	144	1,517
		88,000		2,112,000	168	3,054
	法科(3年課程)	50,000	36	1,800,000	156	1,602
		88,000		3,168,000	216	3,723
	博士	80,000	36	2,880,000	192	3,065
		122,000		4,392,000	240	5,629
第二種	学部	20,000	48	960,000	120	591
		30,000		1,440,000	156	1,120
		40,000		1,920,000		1,494
		50,000		2,400,000	180	2,115
		60,000		2,880,000	192	2,682
		70,000		3,360,000	228	3,616
		80,000		3,840,000	240	4,312
		90,000		4,320,000		4,851
		100,000		4,800,000		5,390
		110,000		5,280,000		5,929
		120,000		5,760,000		6,468
	修士・ 法科(2年課程)	50,000	24	1,200,000	144	1,794
		80,000		1,920,000	156	3,080
		100,000		2,400,000	180	4,360
		130,000		3,120,000	216	6,618
		150,000		3,600,000	240	8,334
	博士・ 法科(3年課程)	50,000	36	1,800,000	156	1,896
		80,000		2,880,000	192	3,631
		100,000		3,600,000	240	5,473
		130,000		4,680,000		7,114
		150,000		5,400,000		8,209

※ 第二種奨学金の保証料月額は、貸与利率 0.27% で計算した場合の目安です。

※ 保証料は、貸与月額・貸与月数・返還期間等により異なります。

継続手続(適格認定)

次年度以降も奨学金の給付・貸与の継続を希望する場合は、「奨学金継続願」を日本学生支援機構に提出する必要があります。適格認定において給付・貸与の継続を決定します。

なお、機構が定める提出期限までに「奨学金継続願」の提出がない場合は、継続する意思がないと判断されて適格認定は「廃止」となり、奨学生としての資格を失います。

返還手続

日本学生支援機構奨学金（第一種・第二種）は貸与型奨学金ですので、卒業後に返還する義務があります。

■ 返還方式 ■

区分	方式
第一種	定額返還方式もしくは所得連動返還方式(いずれかを申込時に選択)
第二種	定額返還方式のみ

定額返還方式：借りた金額に応じて、返還する月額が自動的に決定します。

所得連動返還方式：卒業後の年収に応じて、返還する月額が決定（変動）します。

所得連動返還方式の保証制度は機関保証のみです（P.12 参照）。

■ 返還例【学部 第一種奨学金貸与者】 ■

貸与始期を4月として48か月貸与の場合

通学形態	貸与月額	返還総額	返還月賦額	返還回数(期間)
自宅・自宅外共通	30,000円	1,440,000円	9,230円	156回(13年)
自宅通学者	54,000円	2,592,000円	14,400円	180回(15年)
自宅外通学者	64,000円	3,072,000円	14,222円	216回(18年)

■ 返還例【学部 第二種奨学金貸与者】 ■

貸与始期を4月として48か月貸与の場合

貸与月額	貸与総額	返還総額(元本+利息)	返還月賦額	返還回数(期間)
30,000円	1,440,000円	1,761,917円	11,293円	156回(13年)
50,000円	2,400,000円	3,018,568円	16,769円	180回(15年)
80,000円	3,840,000円	5,167,586円	21,531円	240回(20年)
100,000円	4,800,000円	6,459,510円	26,914円	240回(20年)
120,000円	5,760,000円	7,751,445円	32,297円	240回(20年)

※ 返還例の利率は、3.0%で貸与されたものと仮定して計算しています。

その他の制度

■ 特に優れた業績による返還免除制度 ■

大学院において、第一種奨学金の貸与を受けた学生で、在学中に特に優れた業績をあげ、所定の手続きをした者で、日本学生支援機構が認定した場合に、貸与期間終了時に奨学金の全額または一部の返還が免除される制度です。

学問分野での顕著な成果や発見のほか、専攻分野に関するめざましい活躍、ボランティア等での顕著な社会貢献等も含めて評価し、学生の学修への意欲向上を目的としています。制度の説明は、採用説明会で行います。対象の大学院生の方に、修了年度の12月頃、個別に連絡します。

■ 第二種奨学金(短期留学)制度 ■

海外の大学等に3か月以上1年以内の期間で短期留学をする者で、下記のいずれかに該当する場合に出願できます。詳細については、日本学生支援機構（JASSO）奨学金窓口で確認してください。

- ①学生交流に関する協定等に基づく留学（交換留学等）
- ②留学により取得した単位が、日本で在籍する大学の単位として認定される留学

■ 第二種奨学金(海外)予約制度 ■

国内の大学または大学院から、海外の大学院に進学希望の者で、申込資格に該当する場合に出願できます。詳細については、日本学生支援機構（JASSO）奨学金窓口で確認してください。

■ 優秀学生顕彰事業 ■

経済的理由により修学に困難がありながらも、学術、文化・芸術、スポーツ、社会貢献の各分野で優れた業績をあげた学生に対して、これを奨励・支援し、21世紀を担う前途有望な人材の育成に資することを目的として、多くの方々から寄せられた寄附金を基に優秀学生顕彰を日本学生支援機構が行っています。大学（学部に限る）の3年次生以上が対象です。

詳細については、日本学生支援機構（JASSO）奨学金窓口で確認してください。

■ トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム ■

文部科学省主導で2014年からスタートした、官民協働出資の海外留学のための給付型奨学金です。海外でのインターンシップやボランティアなど、実践的な活動を含んだ留学計画をもつ学生が出願できます。出願の詳細は、国際センターまでお問合せください。

【お問合せ】 tobitate@komazawa-u.ac.jp

【ホームページ】 <https://www.komazawa-u.ac.jp/campuslife/international/japan.html>

(4) 地方公共団体・民間団体奨学金(国内学生・私費外国人留学生対象)

地方自治体(都道府県市区町村)および民間団体が独自の方針に基づいて実施している奨学金です。貸与型、給付型、貸与と給付を同時に行うなど、さまざまな種類の奨学金があります。民間団体の奨学金には、応募者の出願資格を私費外国人留学生に限定した奨学金や海外の大学に入学が決定している者を対象とした奨学金などがあります。

募集は、主に4月前後、9月前後に集中しています。

■ 募集案内 ■

奨学団体から募集依頼が大学へ届くと、奨学金掲示板および大学ホームページの奨学金ページでお知らせします。願書や申込書類の取得方法、出願手順等も併せて掲載します。

昨年度募集があった奨学金や今年度から募集のある奨学金について、本冊子や大学ホームページの奨学金ページに掲載していますので確認してください。

出願方法や書類作成等で不明点があれば、学生部③番窓口までお問い合わせください。

■ 出願方法 ■

各団体への出願方法は概ね以下の3通りです。

- ① 大学推薦・・・学内で1名ないし2名の推薦者を選考し、団体に出願(送付)します。
- ② 大学とりまとめ・・・学内選考は行わず、希望者全員を大学から団体に出願(送付)します。
- ③ 直接出願・・・出願希望者が直接募集团体に出願(送付あるいは持参)します。

■ 推薦書 ■

多くの奨学金では、推薦書の提出を求められます。推薦書は、原則として指導教員に作成してもらいます。新入生などで指導教員がない場合は、所属する学部・学科の事務室にその旨を伝え、推薦してくれる先生の紹介をお願いしてください。推薦書の作成には時間を要しますので、早めに依頼するように心がけましょう。

《地方公共団体奨学金》

【貸与型】

団体名称	金額(月額)	申請時期	団体名称	金額(月額)	申請時期
石川県教育委員会	44,000円	4月	富山県教育委員会	51,000円	4月
茨城県教育委員会	(自宅)36,000円 (自宅外)40,000円	4月	滑川市教育委員会	40,000円	5月
いわき市教育委員会	40,000円	8月	新潟県教育委員会	51,000円	6月
大田区福祉部	44,000円以内	5月	新潟市教育委員会	(年額)400,000円	6月
川崎市教育委員会	38,000円	6月	福島県教育委員会	40,000円	5月
熊本県教育委員会	35,000円	5月	宮崎県教育委員会	63,000円	4月
上越市教育委員会	70,000円	3月			

※ 上記以外にも、奨学金を取り扱っている地方公共団体や、出身地に就職すれば返還支援(助成)を行っている地方公共団体もありますので、出身地の県庁・市役所等のホームページや窓口へお問い合わせください。

《民間団体奨学金》

民間団体奨学金は、募集する団体自らが奨学生を選考するため、大学から推薦をした場合でも採用されないことがあります。しかし、給付型が多いため、採用された学生にとっては有り難いものです。昨年度大学に募集依頼のあった団体や今年度より募集を行なう団体を紹介しますので、積極的に出願してみてください。下表は、出願者の所属（国内学生学部・大学院生・科目等履修生・私費外国人留学生）に分け、給付型・貸与型ごとに出願方法（《大学推薦》・《大学とりまとめ》・《直接出願》）で区分しています。各団体は、採用基準を設け、評価する重点項目を定めて採用を決定します。採用基準である「学業」「人物」「家計」においていずれを重点項目としているかについては、採用基準で分類した箇所に『○』をつけていますので、参考にしてください。

◆国内学生の学部生対象（2018年度実績）

【給付】大学推薦（学内選考があります）

採用基準			団体名称	金額 (月額)	出願資格	出願 時期	推薦書 作成	出願 人数	採用 実績
学業	人物	家計							
○	○	○	公益財団法人 国土育英会	18,000円	学業・人物とも優秀で、かつ健康であり、学資の支弁が困難と認められる者。 ※交流会に参加できる者。	4月	要	2	0
○	○	○	公益財団法人 同盟育成会	40,000円	申込時、学部3年次に進級し、ジャーナリスト、あるいはジャーナリズム研究者を目指し、志操堅固、健康優良、学業成績優秀で、学費の援助が必要と認められる者。	4月	要	2	1
○	○	-	公益財団法人 エフテック奨学財団	30,000円	将来社会に貢献できる有用な活動を目指し、奨学金を自身の将来の成長のために有用に活用できる者。 ※団体が主催する交流会に参加できる者。	4月	要	1	1
-	○	○	一般財団法人 篠原欣子記念財団	30,000円	社会学科社会福祉学専攻に所属する1・3年次生で、福祉施設、あるいは幼児教育施設での就職を希望する者。 品行方正で、態度・行動・発言に社会的良識のある者。心身ともに健康であると認められる者。	4月	不要	0	0
-	○	-	一般財団法人 ホリプロ文化芸能財団	30,000円	※2019年度より新規募集 学部2・3年次生対象で、卒業後、映画・音楽・演劇・テレビ番組などのエンターテインメントの制作に携わるプロデューサー・演出・ディレクターまたはタレント・アーティストを発掘・育成するマネージャーを志す者。 心身ともに健康でかつ、志が高くコミュニケーション能力が優秀な者。	4月	要	-	-
○	○	○	一般財団法人 ナガワひまわり財団	30,000円	4月時点で、学部2～4年次生の満23歳以下で、学術優秀、品行方正でありながら経済的理由で就学が困難な者。	5月	要	1	0
○	○	○	公益財団法人 日本教育文化財団	20,000円	日本国籍を有し、25歳以下で学部1年次に在籍し、学資の支弁が困難で、学業優秀かつ品行方正である者。 ※就学および生活状況について報告できること。	6月	要	1	0

採用基準			団体名称	金額 (月額)	出願資格	出願 時期	推薦書 作成	出願 人数	採用 実績
学業	人物	家計							
-	-	-	公益財団法人 信濃育英会	(学生グループ) 年額 300,000 円 (個人) 年額 100,000 円	ボランティア等活動(福祉・教育・文化・スポーツ・国際交流・環境保護等の公益的活動)を通じて、各々の分野で明るい社会づくりに貢献している学生グループおよび個人(2年次生以上の学部生)で、過去に当該奨学金を受けていないこと。	7月	要	0	0

【給付】大学とりまとめ

採用基準			団体名称	金額 (月額)	出願資格	出願 時期	推薦書 作成	出願 人数	採用 実績
学業	人物	家計							
○	○	○	公益財団法人 戸部眞紀財団	50,000 円	向学心に富み、学業優秀であり、かつ、品行方正で、学資の支弁が困難と認められる者で、申込時、30歳以下で、経営学の分野で修学している学部3・4年次の者。 ※併給の場合は半額。	2～4 月	要	0	0
○	○	○	公益財団法人 ツツミ奨学財団	45,000 円	日本国籍を有し、埼玉県内の高等学校を卒業し、県外の大学に在学する学部1年次生で、学業優秀、品行方正、身体強健でありながら、経済的理由により修学が困難と認められる者。	4月	不要	0	0
○	○	○	一般財団法人 守谷育英会	120,000 円	学業、人物ともに優秀であって、学資の支弁が困難な者。	4月	要	12	1
○	○	○	一般財団法人 ダイオーズ記念財団	10,000 円	将来の夢を実現させるために挑戦する意欲のある者、もしくは様々な能力を伸ばそうという意欲のある者であり、年2回の報告会に出席できること。 申込時、満23歳以下で、学部2・3・4年次生で、心身ともに優れ、学費の援助が必要と認められる者。 ※年2回の報告会に出席できること。	4月	要	1	0
○	○	○	公益財団法人 似鳥国際奨学財団	(自宅) 50,000 円 (自宅外) 80,000 円	日本国籍を有する者(※永住権を有する者も応募可)で、4月1日時点で、学部2～4年次に在籍し、学業、人物ともに優秀で健康であり、国際理解と国際間の友好親善に寄与できる者。 ※他の給付型奨学金を受けていない者。 ※WEBにて応募エントリー。	4～11 月	不要	0	0

【給付と貸与】大学とりまとめ

採用基準			団体名称	金額 (月額)	出願資格	出願 時期	推薦書 作成	出願 人数	採用 実績
学業	人物	家計							
-	-	○	あしなが育英会	70,000 円	出願時に出願者本人が25歳以下。 病気・災害・自死などで保護者が死亡、または障害(1～5級)を負っている家庭の者。	4～5 月	要	2	2

【給付】（留学希望）直接出願

採用基準			団体名称	金額 (月額)	出願資格	出願 時期	推薦書 作成	出願 人数	採用 実績
学業	人物	家計							
○	○	○	公益財団法人 重田教育財団	200,000 円	日本国籍を有し、海外の大学または大学院への入学が決定している者。 経済的な理由により留学費用の支弁が困難であること。 学業優秀かつ品行方正であること。 ※就学および生活状況について適時報告できること。 ※語学力を証明できるもの (TOEFL iBT、IELTS のスコアなど)、留学先の語学力を証明できるもの。	6 月	不要	0	0
○	○	○	公益財団法人 平和中島財団	150,000 円	学業、人物ともに優秀であり、経済的援助を必要とする者。 日本国籍(永住権可)を有し、応募時に日本国内に居住する者。(海外在住者、海外大学等の在籍者はできません) ※過去に本財団の奨学金を受けていない者。 ※留学する大学等で使用する言語に応じ、語学力を有する者。 ※その他、出願資格あり。	9～10 月	要	0	0

【貸与】大学とりまとめ

採用基準			団体名称	金額 (月額)	出願資格	出願 時期	推薦書 作成	出願 人数	採用 実績
学業	人物	家計							
-	-	-	公益財団法人 鉄道弘済会	40,000 円	文学部社会科学科社会福祉学専攻に所属する学部生、もしくは将来、社会福祉関係へ従事する意欲のある学部生。 ※返還優遇制度あり	2～4 月	不要	0	0
-	-	○	公益財団法人 常磐奨学会	30,000 円	福島県いわき市・茨城県北茨城市およびその周辺地域居住者の子弟である学部生。	3～4 月	不要	0	0
○	○	○	公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団	55,000 円	両親またはいずれかが沖縄県内に住民登録している者。	4 月	不要	1	1
○	○	○	公益財団法人 日本通運育英会	30,000 円	出願時点での学部 1・2 年次生で、学術優秀、品行方正でありながら経済的理由により就学が困難な者。	4 月	不要	0	0
○	-	○	公益財団法人 山口県ひとづくり財団	25,000 円	保護者が山口県内に住所を有し、学部在学中、向学心に富み有能な素質を有し、経済的な理由により修学が困難と認められる者。 ※その他の奨学団体の奨学生でない者。	4 月	要	0	0
-	-	○	公益財団法人 交通遺児育英会	40,000 円 50,000 円 60,000 円 から選択	保護者等が道路における交通事故で死亡、もしくは著しい後遺障害で働けないため、教育費に困っている者。	4～10 月	要	0	0
○	-	○	公益財団法人 芸備協会	20,000 円	広島県の高等学校を卒業し、東京都内の大学に在学の者。 経済的理由により修学が困難である事。 学習状況が良好であること。	5 月	不要	0	0

採用基準			団体名称	金額 (月額)	出願資格	出願 時期	推薦書 作成	出願 人数	採用 実績
学業	人物	家計							
○	○	○	一般財団法人 関育英奨学会	30,000円	学部2年次に在学し、人物・学業とも優秀かつ健康でありながら、学資の支弁が困難と認められた者。	5月	要	0	0

◆国内学生の大学院生対象

【給付】大学推薦（学内選考があります）

採用基準			団体名称	金額 (月額)	出願資格	出願 時期	推薦書 作成	出願 人数	採用 実績
成績	人物	家計							
○	○	○	公益財団法人 国土育英会	18,000円	人物・学業とも優秀かつ健康であり、学資の支弁が困難と認められる者。	4月	要	0	0
○	○	○	公益信託 松尾金蔵記念奨学 基金	(年額) 1,000,000円	人文科学研究科または、グローバル・メディア研究科に所属し、30歳未満の修士1年生、博士1年生の者で、品行方正、健康で学業成績が優秀で、就学上奨学金の援助を必要とする者。	4月	要	1	0
○	○	○	公益財団法人 同盟育成会	60,000円	申込時、修士課程に進学し、ジャーナリズム、マスコミ関係の研究者またはジャーナリストになることを目指している者で、志操堅固、健康優良、学業成績優秀で、学費の援助が必要と認められる者。	4月	要	0	0
○	○	○	公益財団法人 ダイオーズ記念財団	10,000円	将来の夢を実現させるために挑戦する意欲のある者、もしくは様々な能力を伸ばそうという意欲のある者であり、年2回の報告会に出席できること。申込時、満33歳以下で、大学院に在学し、心身ともに優れ、学費の援助が必要と認められる者。 ※年2回の報告会に出席できること。	4月	要	0	0
○	-	-	公益財団法人 戸部眞紀財団	50,000円	申込時、30歳以下の者で、経営学の分野で修学している修士・博士課程の者。 ※併給の場合は半額。	4月	不要	0	0
○	○	○	一般財団法人 ナガワひまわり財団	30,000円	4月出願時、満33歳以下の修士課程に在学する者で、学術優秀、品行方正でありながら経済的理由で就学が困難な者。	5月	要	0	0

【給付と貸与】大学とりまとめ

採用基準			団体名称	金額 (月額)	出願資格	出願 時期	推薦書 作成	出願 人数	採用 実績
成績	人物	家計							
-	-	○	あしなが育英会	120,000円	学部生の時にあしなが育英会奨学生であった者。	5月	要	0	0

【給付】大学とりまとめ

採用基準			団体名称	金額 (月額)	出願資格	出願 時期	推薦書 作成	出願 人数	採用 実績
成績	人物	家計							
○	○	○	一般財団法人 守谷育英会	120,000円	学業、人物ともに優秀であって、学資の支弁が困難な者。	4月	要	0	0

【給付】（留学希望）直接出願

採用基準			団体名称	金額 (月額)	出願資格	出願 時期	推薦書 作成	出願 人数	採用 実績
成績	人物	家計							
○	○	○	公益財団法人 重田教育財団	200,000 円	日本国籍を有し、海外の大学または大学院への入学が決定している者 経済的な理由により留学費用の支弁が困難であること。 学業優秀かつ品行方正であること ※就学および生活状況について適時報告できること。 ※語学力を証明できるもの (TOEFL iBT、IELTS のスコアなど)、留学先の語学力を証明できるもの。	6 月	不要	0	0
-	-	-	公益財団法人 仏教伝道協会	(単身の場合) 年額 3,600,000 円 (家族の場合) 年額 4,200,000 円	日本国籍を有し、40 歳以下の博士号取得者もしくは大学院在籍者で仏教の学術研究に従事する者。また、採用後 1 年間継続的に渡航先で研究を遂行出来る者。	7～10 月	不要	0	0
○	○	○	公益財団法人 平和中島財団	200,000 円 および往 復渡航費	学業、人物ともに優秀であり、経済的援助を必要とする者。 日本国籍(永住権可)を有し、応募時に日本国内に居住する者(海外在住者、海外大学等の在籍者はできません)。 ※過去に本財団の奨学金を受けていない者。 ※留学する大学等で使用する言語に応じ、語学力を有する者。 ※その他、出願資格あり。	9～10 月	要	0	0
○	○	○	公益財団法人 中島記念国際交流 財団	200,000 円 その他、 支度金・ 授業料あり	学業、人物ともに優秀であって、健康である者。 海外の大学(またはこれに準ずる機関)の修士号または博士号を取得するために海外の大学院(情報科学・生命科学・経営科学)に留学する者。 ※外国語能力について、留学先での教育研究に支障のない者。 ※国際理解および我が国と諸外国との友好、親善に寄与できる者。	8 月	要	0	0

【貸与】大学とりまとめ

採用基準			団体名称	金額 (月額)	出願資格	出願 時期	推薦書 作成	出願 人数	採用 実績
成績	人物	家計							
○	○	○	公益財団法人 沖縄県国際交流・人 材育成財団	(修士) 70,000 円 (博士) 80,000 円	両親またはいずれかが沖縄県内に住民登録している学生。 学業、人物ともに優秀と認められる者。 ※他の奨学金の貸与を受けていない者。	4 月	不要	0	0
-	-	○	公益財団法人 交通遺児育英会	50,000 円 80,000 円 100,000 円 から選択	保護者等が道路における交通事故で死亡、もしくは著しい後遺障害で働けないため、教育費に困っている者。	4～10 月	要	0	0

◆その他(科目等履修生)

【給付】直接出願

採用基準			団体名称	金額 (月額)	出願資格	出願 時期	推薦書 作成	出願 人数	採用 実績
成績	人物	家計							
-	-	-	公財団法人 北野生涯教育振興 会	(総額) 200,000 円	前期、後期合わせて 4 単位以上取得 予定の者。 ※過去に本財団の奨学金を受けてい ない者。	3 月	不要	0	0

◆私費外国人留学生対象 ※在留資格『留学』であることが条件です。

【給付】大学とりまとめ

採用基準			団体名称	金額 (月額)	出願資格	出願 時期	推薦書 作成	出願 人数	採用 実績
成績	人物	家計							
○	○	○	公益財団法人 国土育英会	100,000 円	人物・学業とも優秀かつ健康であり、学 資の支弁が困難と認められる者。	4 月	要	5	0
○	○	○	一般財団法人 守谷育英会	120,000 円	学業、人物ともに優秀であって、学資 の支弁が困難な者。	4 月	要	4	0

【給付】大学推薦(学内選考があります)

採用基準			団体名称	金額 (月額)	出願資格	出願 時期	推薦書 作成	出願 人数	採用 実績
成績	人物	家計							
○	-	-	公益財団法人 神林留学生奨学会	120,000 円	アジア諸国および地域の出身者で、申 込時点で 1 年以上在籍している大学院 生。	3 月	要	0	0
○	-	-	公益財団法人 朝鮮奨学会	(学部生) 25,000 円 (修士・法科) 40,000 円 (博士) 70,000 円	申込時点で、満 30 歳未満で、学部 2 年次以上の韓国からの留学生、または 満 40 歳未満の韓国からの留学生で、 法科未修は 2 年以上で、他大学院生 は制限なし。 ※朝鮮奨学会より高い受給額の奨学 金の併用できません。	4 月	不要	1	1
○	○	-	公益信託 石森記念北米友好 奨学基金	(学部生) 50,000 円 (大学院生) 70,000 円	アメリカ合衆国、カナダの国籍を持ち、 申込時点で学部(3・4 年次生)、修士(1 年・2 年)、博士(1~3 年)に在籍する 者。	4 月	要	0	0
○	-	-	公益財団法人 日本国際教育支援 協会	50,000 円	日本国内で実施した日本語能力試験 N1 を受験し、170 点以上(中国語・韓 国語以外を母語とする者は 100 点以 上)の成績を修めた者。	4 月	不要	1	0
○	○	○	公益財団法人 SGH財団	100,000 円	ASEAN 加盟国の国籍を持ち、申込 時点で学部 3 年次生(27 歳未満)、修士 課程 1 年生、博士後期課程 2 年生の 者(35 歳未満)で、学業・人物ともに優 秀でかつ健康であり、経済的援助を必 要とする者。 交流活動に積極的に参加できる者。	2~4 月	要	0	0
-	○	-	公益財団法人 守屋留学交流会	70,000 円	人物優秀で、かつ心身ともに健康であ る者。 4 月出願時で、満 35 歳未満で、地理 学・歴史学またこれらに関連する諸科 学を専攻する修士・博士課程の者。	3~4 月	要	0	0

採用基準			団体名称	金額 (月額)	出願資格	出願 時期	推薦書 作成	出願 人数	採用 実績
成績	人物	家計							
○	○	○	公益財団法人 長坂国際奨学財団	50,000 円	東南アジア諸国の出身で、学部 2・3・4 年次生に在籍し、品行方正、志操堅固、健康で学業成績が優秀であり、学資が豊かでないこと。	5 月	要	1	1
○	○	-	公益財団法人 ロータリー米山記念 奨学会	(学部生) 100,000 円 (大学院生) 140,000 円	日本以外の国籍を有する者で、4 月時点で学部の 3・4 年次生、大学院の修士・博士課程に在籍する者。 国際理解と親善に関心を持ち、交流会に参加できる者。 月額 5 万円以上の給付奨学金を受けていない者。	9 月	要	1	0
-	○	-	公益財団法人 日本台湾交流協会	(修士・法科) 144,000 円 (博士) 145,000 円 ※授業料等 (上限有り)	4 月 1 日時点において日本の大学院に進学または在学する台湾籍の私費外国人留学生の大学院生(修士・法科大学院・博士)で、満 35 歳未満の者。 ※他の奨学金を受けていない者。	10 月	要	0	0
○	○	○	一般財団法人 共立国際交流奨学 財団	100,000 円 または 60,000 円	アジア諸国の国籍を持ち、4 月より 2 学年以上在籍する学部生・大学院生。	11~1 月	要	1	0
○	○	○	公益財団法人 長谷川留学生奨学 財団	(学部生) 90,000 円 (大学院生) 110,000 円	アジア各国の国籍を持ち、都内に在住する者。	10 月	要	1	0
○	○	○	公益財団法人 日本中国友好協会	70,000 円	中華人民共和国の国籍を持ち、29 歳以下で 4 月以後も大学院に在籍する者。	10 月	要	0	0
○	○	○	公益財団法人 平和中島財団	30,000 円	在留資格が「留学」で、原級をしていない学部生・大学院生。	10 月	要	0	0
-	-	-	公益財団法人 安田奨学財団	100,000 円	経済・法・経営学部在籍し、4 月時点で学部 3 年次になる学部生。	11 月	要	0	0

【給付】直接出願

採用基準			団体名称	金額 (月額)	出願資格	出願 時期	推薦書 作成	出願 人数	採用 実績
成績	人物	家計							
-	-	-	公益財団法人 渥美国際交流財団	200,000 円	日本の博士課程に在籍し、博士号取得見込みがあり、研究室並びに居住地が関東地方の都県にある日本語が堪能な者。 交流活動に積極的に参加できる者。	7~9 月	不要	0	0
○	○	-	公益財団法人 似鳥国際奨学財団	110,000 円	4 月 1 日現在、学部 1~4 年次生、または大学院 1~2 年次生に在籍/在籍予定の外国人私費留学生。 ※「永住権」を有する者は、弊財団日本人大学生奨学金に応募可。 ※最短修業年限を超えている学生は対象外。 日本語による意思伝達が十分可能であり、国際理解と国際間の友好親善に寄与できる者。 ※他の奨学金を受けていない者。 ※WEBにて応募エントリー。	4~11 月	要	0	0

※ 金額・出願資格等の変更や募集締切日などについては、奨学金掲示板および大学ホームページの奨学金ページで確認してください。

Q. 応募・採用時期はいつですか。

A. 団体により大きく異なりますが、主に4月前後、9月前後に集中しています。

Q. 願書はどこで入手できますか。

A. 募集中の奨学金については、大学の奨学金ページに願書のPDFファイル、あるいは奨学団体のリンクを公開しています。各自ダウンロード・印刷して下さい。詳しくは大学の地方公共団体・民間団体・私費留学生対象奨学金関係のお知らせページ (<https://www.komazawa-u.ac.jp/campuslife/scholarship/>) を参照してください。

Q. 日本学生支援機構奨学金に応募した際に提出した書類をそのまま使用してもらえますか。

A. 出来ません。同じ書類でも奨学金ごとに用意してください。

Q. 地方公共団体・民間団体の奨学金は、日本学生支援機構奨学金や学内奨学金(給付)と併用することはできますか。

A. 地方公共団体・民間団体については、団体により異なります。詳しくは各団体の奨学金募集要項を参照してください。

Q. 提出書類に推薦書が必要であるとの条件がありますが、誰に作成してもらえばいいですか。

A. ゼミの指導教員に推薦書を作成してもらってください。ゼミに入っていないなど、指導教員がない場合は、所属する学部・学科の事務室にその旨を伝え、推薦してくれる先生を紹介をお願いしてください。なお、推薦書の学長印については学生部③番窓口で対応します。

Q. 母子・父子福祉資金申請に必要な証明書や大学に掲載されていない奨学金の推薦・証明書類発行してほしいのですが。

A. 学生部③番窓口にお越しください。学生証を提示し、根拠資料として、募集要項あるいはそれに準ずるもののコピーを提出してください。要項等の提出が確認できない場合は、書類の発行はできません。

Q. 締切が迫っているので、推薦・証明書類の発行を即日してほしいのですができますか。

A. 出来ません。しっかりと時間に余裕をもって出願してください。発行の所要期間はおよそ休業日を含めず7日程度必要です。

(5) 曹洞宗関係奨学金

曹洞宗関係奨学金は、曹洞宗が宗門の興隆に資することを目的に、曹洞宗の僧籍を有する学生やその保証人に対して設けている奨学金です。宗務庁から奨学金の貸与・給付が行われます。

必要書類等については、下記募集時期に配付しますので、奨学金掲示板および大学ホームページで確認してください。

曹洞宗育英会奨学金	
社会に有為な人材の育成に資することを目的とし、学業、操行ともに優秀な学生に対し奨学金が貸与されます。	
出願資格	大学院生・学部生で曹洞宗の僧籍を有する学生
種別	貸与
貸与額	月額 3 万円
貸与期間	最短修業年限
募集時期	4 月上旬(出願締切の第 1 次は 5 月(第 2 学年以上)、第 2 次は 9 月)
備考	座元以上の法階を有する者、又は得度後 1 年以上経過していること。 平成 31 年度新生は、第 2 次募集のみです。 学生(本人)名義の金融機関口座へ振込みます。

曹洞宗奨学金	
曹洞宗の僧籍を有する者(在学中に取得する者を含む)に宗務庁から奨学金が給付されます。	
出願資格	大学院仏教学専攻・仏教学部で曹洞宗の僧籍を有する学生および仏教専修科在籍者
種別	給付
給付額	年額 10 万円
給付期間	最短修業年限
募集時期	新生 : 入学試験合格通知に願書を同封 学部生・大学院生 2 年次生以上 : 4 月上旬
備考	曹洞宗の僧籍を有していない者(得度に関する出願をしていない者、他宗の僧侶など)、寺族は対象外です。 学資負担者名義の金融機関口座に 3 月末日までに振込みます。

曹洞宗修証義公布百周年記念育英会奨学金	
募集要項・出願については直接、曹洞宗宗務庁教学部指導課にお問合せください。	
出願資格	曹洞宗寺院の子弟および寺院檀信徒の子弟で学部または大学院の新生
種別	給付
給付額	月額 3 万円
給付期間	最短修業年限
備考	他の奨学金との併用はできません。 学生(本人)名義の金融機関口座へ振込みます。 ※学業成績により継続して給付を受けられます。 曹洞宗宗務庁教学部指導課 連絡先:03-3454-5422

(6) 教育ローン

提携金融機関の教育ローン

入学予定者および在学学生を対象とした金融機関提携「駒澤大学教育ローン」と「駒澤大学法科大学院提携ローン」制度を設けています。駒澤大学で学ぶ意思がありながら、経済的理由により修学が困難な学生に、在学中の経済的な不安を解消し、勉学に専念できるよう配慮した経済支援制度です。金利等の概要は金融機関によって異なります。申込手続きの前に金融機関に詳細を確認のうえ、最良と思われる金融機関を選択されることをお勧めします。

※金融機関から「個人」へ振込まれます。

駒澤大学教育ローン			
対象者(資格)	駒澤大学入学予定者および在学学生の保証人等 原則として父母（提携金融機関指定保証会社の保証用件を満たしている方）		
用途	駒澤大学に納付する学費等		
融資額	10万円以上 最大500万円以下（1万円単位）		
利率	変動金利型/固定金利型	担保	無担保
融資期間	6か月以上 最長10年以内（1か月単位）		
返還方法	毎月元利均等返還（融資金額の50%まで6か月毎のボーナスで増額返還ができます） 最長5年の元金返還措置ができます。		
申込必要書類	1. 所得証明書 2. 免許証等申込対象者本人と確認できるもの 3. 合格通知 4. 本学入試要項〔入学手続金（融資額）記載箇所〕および入学手続金振込依頼書 ※ 基本的な書類です。詳細については金融機関にお問合せください。 ※ 3・4は入学予定者のみ。在学学生は学費の振込用紙等。		
融資実行	申込手続き完了後、審査・契約を経て融資が実行されます（2週間程度）		
提携金融機関	みずほ銀行世田谷支店 TEL 03-3410-2516 三菱UFJ銀行世田谷支店 TEL 03-3411-0181（音声ガイダンス案内） ※手続きは、窓口店に問合せ後、現在使用している口座の支店で申し込みを行います。		

駒澤大学法科大学院提携ローン(法科大学院生対象)			
対象者	本人で東京都内居住者 年齢：満20歳以上 年収：特に定めない	利用金額	600万円以下 (年間200万円を限度とする)
		利用期間	1年以上10年以内
用途	入学金、授業料等	担保	不要
保証料	<ul style="list-style-type: none"> 連帯保証人がない場合は 4.0% 連帯保証人がある場合は 2.0% 	連帯保証人	原則として1名必要
返済方法	<ul style="list-style-type: none"> 司法修習終了までは利息のみの支払い 司法修習終了後に約定返済を開始 		
必要書類	本人	<ul style="list-style-type: none"> 運転免許証または健康保険証の写し 住民票（本人と両親等の親族関係がわかる書類） 	
	連帯保証人	<ul style="list-style-type: none"> 運転免許証または健康保険証の写し 所得がある場合は確認できる書類（源泉徴収票・確定申告書の控等） 	
	資金用途	<ul style="list-style-type: none"> 合格通知、入学金納付書、授業料納付書、施設使用料等 	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 入学金納付および授業料納付は、第一勧業信用組合から振込となります。 司法試験合格前に進路変更や退学をした場合には、一括返済をすることとなります。 団体信用生命保険の加入が原則となります（健康診断書が必要になる場合もあります）。 		
融資利率	第一勧業信用組合のホームページを参照してください http://www.daiichikanshin.com/loan/houka/		
提携金融機関	第一勧業信用組合 業務推進部 TEL:03-3359-3781 FAX:03-3358-6140 受付時間 平日9:00~17:00(組合休業日除く)		

提携信販会社の教育ローン

提携会社が学費等を立替払いで大学に納付し、利用者は提携会社に分割返済するローン制度です。
ご利用の場合は、返済資金計画を十分ご検討のうえ、ご利用ください。
※信販会社から「大学」へ学費を直接振込みます。

■ オリコ学費サポートプラン 【オリコ 学費】 で検索

※ホームページ <https://orico-web.jp/gakuhi/index.html>

※オリコ 学費サポートデスク TEL：0120-517-325

■ セディナ学費ローン 【セディナ 学費】 で検索

※ホームページ <https://www.cedyna.co.jp/loan/alliance/tuition>

※セディナ カスタマーセンター TEL：0120-686-909

国の教育ローン

「国の教育ローン」は日本政策金融公庫が教育に必要な資金を融資する公的な制度で、通年実施されています。本学に入学・在学する学生の保護者で下記に該当される方は利用ができます（日本学生支援機構奨学金と併用可）。

■ 利用可能な世帯の年間収入(所得)の上限額について ■

世帯の年間収入(所得)が下表の金額以内の方

子供の人数(※)	給与所得者	事業所得者
1人	790万円	590万円
2人	890万円	680万円
3人	990万円	770万円

※ 「子供の人数」とは、扶養している子供の人数をいい、年齢・就学の有無を問いません。

※ 子供の人数が「4人以上」の場合は、下記コールセンターへお問合せください。

上記に該当しない方でも、特例要件に該当する場合がありますので、下記コールセンターへお問合せください。

■ 融資制度の概要 ■

融資額	学生・生徒1人あたり350万円以内 (海外留学資金として利用する場合は450万円以内)
用途	入学金・授業料・居住費用・教科書代等
返済期間	15年以内 ※交通遺児、母子・父子家庭または世帯年収200万円(所得220万円)以内の方は18年以内
返済方法	毎月元利均等返済
保証	(公財)教育資金融資保証基金の保証(連帯保証人による保証も可能)

問い合わせ先:「国の教育ローン」コールセンター

TEL:0570-008656(ナビダイヤル)月～金9時～21時、土9時～17時

※日曜日、祝日、年末年始(12月31日～1月3日)は除く。

※公衆電話・IP電話・CATV電話からは【03-5321-8656】

※ホームページ <http://www.jfc.go.jp/>

参考資料

(1) 出願から採用までの流れ

駒澤大学学内奨学金(2019年度)			
	学業奨励型	経済支援型	
	①駒澤会奨学金 ④教育後援会奨学金(成績)	②百周年記念奨学金 ③教育後援会奨学金(家計) ⑥同窓会教育研究活動奨学金	②百周年記念奨学金(留学生) ⑤教育後援会奨学金(留学生)
4月	①『駒澤会奨学金』 ④『教育後援会奨学金(成績)』 募集要項・出願書類 KONECO 配信 (2日～16日) ①『駒澤会奨学金』 ④『教育後援会奨学金(成績)』 出願書類提出(10日～16日)	②『百周年記念奨学金』 ③『教育後援会奨学金(家計)』 募集要項・出願書類 KONECO 配信 (2日～6月19日)	②『百周年記念奨学金(留学生)』 ⑤『教育後援会奨学金(留学生)』 募集要項・出願書類 KONECO 配信 (2日～6月7日)
5月	①『駒澤会奨学金』 採用者通知(中旬)		
6月		②『百周年記念奨学金』 面談予約(3日～7日) ②『百周年記念奨学金』 面談・出願書類提出(12日～19日)	②『百周年記念奨学金書(留学生)』 出願書類提出(3日～7日)
7月	④『教育後援会奨学金(成績)』 出願書類 KONECO 配信 (22日～9月20日)	②『百周年記念奨学金』 採用者通知(中旬) ③『教育後援会奨学金(家計)』 募集要項・出願書類 KONECO 配信 (22日～9月25日)	②『百周年記念奨学金』 採用者通知(中旬)
8月			
9月	④『教育後援会奨学金(成績)』 出願書類提出(19日・20日)	③『教育後援会奨学金(家計)』 面談予約(16日～18日) ③『教育後援会奨学金(家計)』 面談・出願書類提出(23日～25日)	⑤『教育後援会奨学金(留学生)』 出願書類提出(19日・20日)
10月	④『教育後援会奨学金(成績)』 採用者通知(下旬)	③『教育後援会奨学金(家計)』 採用者通知(下旬)	⑤『教育後援会奨学金(留学生)』 採用者通知(下旬)
11月			
12月		⑥『同窓会教育研究活動奨学金』 採用者通知(月上旬)	
1月			
2月			
3月			

(2) 2018年度 駒澤大学奨学生数一覧(延べ人数)

(2019年1月31日現在)

奨学金の種類	仏教	文	経済	法	経営	医療	GMS	大学院	法科大学院	合計
新人の英知(入試特待生)奨学金 (継続者含む)	3	18	7	3	11	1	8	-	-	51
全学部統一日程入学試験奨学金 (継続者含む)	1	27	13	3	9	-	2	-	-	55
駒澤大学百周年記念奨学金	1	15	13	5	6	1	6	3	-	50
駒澤大学駒澤会奨学金	1	6	5	3	2	1	2	-	-	20
駒澤大学教育後援会奨学金(家計)	-	18	8	23	12	4	8	2	-	75
駒澤大学教育後援会奨学金(成績)	5	22	15	12	12	1	4	-	-	71
駒澤大学教育後援会奨学金(留学生)	-	-	3	-	2	-	-	5	-	10
駒澤大学同窓会教育研究活動奨学金	3	44	30	26	16	4	8	11	-	142
駒澤大学教育ローン利子補給奨学金	-	-	-	-	-	-	1	-	3	4
日本学生支援機構給付奨学金	1	19	16	11	9	2	6	-	-	64
日本学生支援機構第一種奨学金(貸与型)	73	492	405	371	274	49	150	33	9	1,856
日本学生支援機構第二種奨学金(貸与型)	101	640	648	625	414	82	242	3	3	2,758
曹洞宗育英会奨学金	4	-	-	-	-	-	-	-	-	4
曹洞宗奨学金	180	-	-	-	-	-	-	10	-	190
曹洞宗修証義公布百周年記念 育英会奨学金	7	1	-	-	-	2	-	-	-	10
地方公共団体奨学金	2	7	5	8	5	1	1	-	-	29
民間団体奨学金	2	3	6	6	5	2	1	-	-	25
合計	384	1,312	1,174	1,096	777	150	439	67	15	5,414

奨学金制度変更のお知らせ

2020 年度から駒澤大学学内奨学金制度が大きく変わります。
出願方法や出願書類等は 2020 年 3 月頃に大学ホームページに掲載します。

★学業奨励型奨学金

2019 年度まで【現行】			2020 年度より	
【前期】	駒澤大学駒澤会奨学金	☞	学部 推薦	学業成績最優秀者奨学金
【後期】	駒澤大学教育後援会奨学金(成績)			

- ※学部による推薦となるので学生は申請の必要がありません。
- ※学科の各年次において最優秀である者 1 人を採用します。
- ※2・3 年次生は前年度の成績 (GPA 値)、4 年次生は 1 年次から 3 年次までの成績を選考基準とします。

★経済支援型奨学金

2019 年度まで【現行】			2020 年度より	
【前期】	駒澤大学百周年記念奨学金	☞	一括募集	駒澤大学百周年記念奨学金
【後期】	駒澤大学教育後援会奨学金(家計)			駒澤大学駒澤会奨学金
【前・後期】 の不採用者	駒澤大学同窓会教育研究活動奨学金			駒澤大学同窓会奨学金

- ※『駒澤大学駒澤会奨学金』は、目的が学業奨励から経済支援に変わります。
- ※『駒澤大学同窓会教育研究活動奨学金』の名称が『駒澤大学同窓会奨学金』に変わります。
- ※申請資格 (所得基準・成績基準) が変わります。

2019 年度までの所得【現行】			2020 年度以降の所得	
給与所得者	841 万円以下	☞	給与所得者	400 万円以下
給与所得者以外	355 万円以下		給与所得者以外	250 万円以下

2019 年度までの成績【現行】			2020 年度以降の成績	
1 年次生 (高校の評定平均値)	2.8 以上	☞	1 年次生 (高校の評定平均値)	3.5 以上

★2020 年度からの採用人数と給付金額

2020 年度より			
奨学金の種類	奨学金の名称	採用人数	給付金額(年額)
学業奨励型奨学金	学業成績最優秀者奨学金	53 人	50 万円
	駒澤大学百周年記念奨学金	100 人以内	50 万円
経済支援型奨学金	駒澤大学駒澤会奨学金	20 人	20 万円
	駒澤大学同窓会奨学金	150 人以内	10 万円

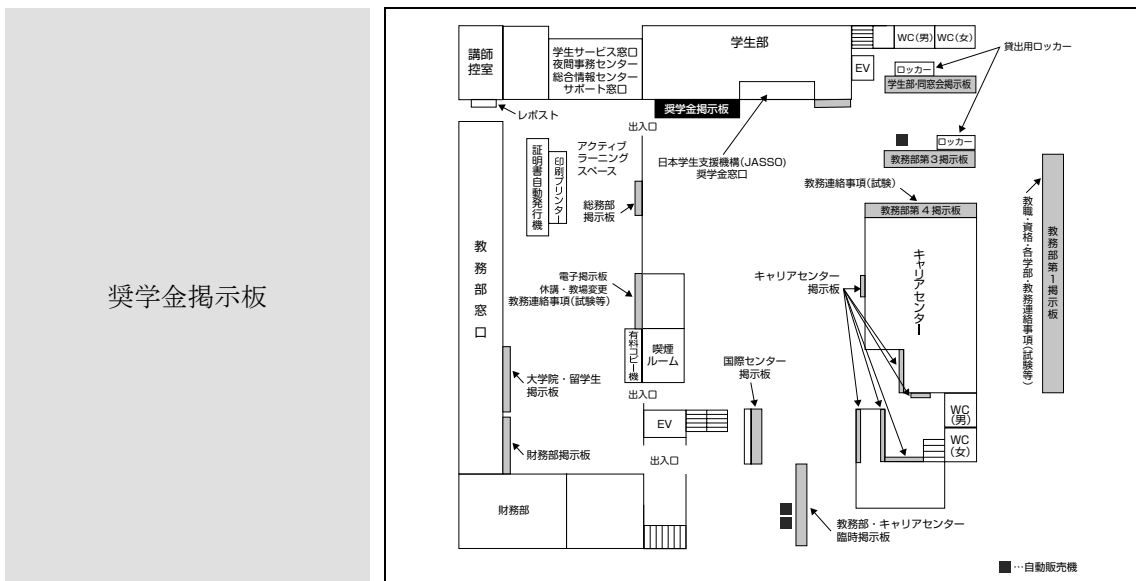
駒澤大学

<p>日本学生支援機構を除く 奨学金に関すること</p>	<p>駒澤大学学生部厚生課厚生 2 係 (学生部③番窓口) TEL 03-3418-9058 月～金 9:00～18:00 土曜日 9:00～12:00 ※窓口対応時間は時期によって変更する場合があります。</p>
----------------------------------	---

<p>日本学生支援機構(JASSO) 奨学金に関すること</p>	<p>日本学生支援機構(JASSO)奨学金窓口【学生部内】 TEL 03-3418-9557 月～金 9:00～18:00 ※土曜日は窓口対応を行いません。 ※窓口対応時間は時期によって変更する場合があります。</p>
--------------------------------------	---

<p>奨学金ページ (大学ホームページ内)</p>	<p>大学 TOP → 学生生活 → 奨学金 https://www.komazawa-u.ac.jp/campuslife/scholarship/</p>
-------------------------------	--

<p>KONECO</p>	<p>https://koneco.komazawa-u.ac.jp/</p>
---------------	--



日本学生支援機構

<p>日本学生支援機構ホームページ</p>	<p>http://www.jasso.go.jp/</p>
-----------------------	--

<p>スカラネット・パーソナル</p>	<p>https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/ 「スカラネット PS」で検索</p>
---------------------	---